

8.2 NACCSへ新規に参加する場合の接続試験の準備等

接続試験に際し各利用者は自社サーバの準備のほか、ハードウェア及びその他詳細情報等を準備する必要がある。表 8-2-1 に利用者が準備するハードウェア及び詳細情報等を示す。

表 8-2-1 各利用者が準備するハードウェア及び詳細情報等

ハード、ソフト等	説明事項
①NACCS 接続ルータ	以下の処理方式を利用する場合、通信回線の敷設を NACCS センターへ申込む。NACCS 接続ルータは NACCS センターが手配する。 インタラクティブ処理方式 (SMTP 双方向) メール処理方式 (SMTP/POP3)
②通信回線	以下の処理方式を利用する場合、通信回線の敷設を NACCS センターへ申込む。 インタラクティブ処理方式 (SMTP 双方向) メール処理方式 (SMTP/POP3)
③LAN ケーブル等	NACCS 接続ルータと自社システムを接続するため ○GW (SMTP/POP3 または SMTP 双方向) ……………LAN ケーブル等、利用者側にてご準備いただく設備
④NACCS センター ping ポイントの IP アドレス (接続試験用含む) (注)	利用者からの利用申込み後、NACCS センターから通知または送付される
⑤NACCS センターの DNS 機能の ping ポイントの IP アドレス (注)	
⑥NACCS センターの DNS 機能の IP アドレス	
⑦NACCS センター側サーバのドメイン名 (接続試験用含む)	
⑧利用者側メールアドレス (接続試験用含む) (注)	
⑨利用者コード、識別番号、パスワード (接続試験用含む)	
⑩デジタル証明書 (netAPI 利用者)	
⑪接続試験実施要領	
⑫業務仕様書・EDI 仕様書(本書)	

(注) ドメイン名、メールアドレスは、利用者の利用する処理の違いによって、NACCS センターから各サーバに対応したドメイン名/メールアドレスを通知する。
なお、以下の処理方式を使用する利用者については、下記の情報が通知される。

○管理資料情報取出処理（自社システム）利用者

『ドメイン名(接続試験用含む)』、『利用者側メールアドレス(接続試験用含む)』の代わりに、『センター側 URL(接続試験用含む)』が通知される。